

ARCHTECTURE REVIEW



建築見て歩記 その23

安藤建築10回目は、みよし市にある住宅の「番匠邸」で1976年に完成し、その後、1981年に増築が行われました。安藤建築としては、かなり初期の作品で、有名な「住吉の長屋」と、同じ年に竣工していますからまだ、空間構成の試行錯誤の時期だと思われます。現在もそのままの姿で残っていますが、空き家状態です。確か売りに出ていたと思いますが…

CURRENTLY WORKS



マンションリフォーム その2 廊下

このマンションは、元々は2軒で別々だった住居を、1軒の住居として改修されていました。そのため、2つの住居をつなぐ渡り廊下のような通路がありました。少々強引な処理ではありましたが、その場所からの眺望が良く、特別な場所だと感じられたので、「夜景」を楽しむための「住居内バー」と位置付け、この場所だけを濃色の素材で仕上げました。

PRIVATE TOPICS



太田のアート探訪記 その7「江之浦測候所」その2

見学時の個人的注目点は、現代建築として海側に片持ちで宙に浮く「夏至光遥拝100メートルギャラリー」と、同じく片持ちで突き出す、錆鉄板の「冬至光遥拝隧道」が立体的に交差しつつ、庭と関わる部分です。



EDITORIAL NOTE

6月と言えば「梅雨」…「梅雨」には「梅霖（ばいりん）」や「五月雨（さみだれ）」という別名も有ります。この「五月雨」も、読み方が美しい響きの言葉です。この他にも「麦雨（ばくう）」とも言うそうですがここで「麦秋」という言葉が浮かびました。「秋」の別名だと思っていましたが、この季節のことだそうです…

編集担当：太田・藤原